取扱説明書

DAYTONA corp.

R92021　①/⑥

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

ローダウン フロントフォーク スプリング	適応車種	商品NO.
	MAJESTY-S <2LD 国内仕様専用>	92021

■ご使用前に必ずご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
その他	その他の警告及び注意を告げるものです。		

⚠警告

実施

- フロントホイールの脱着作業が必要なため、車体をジャッキアップしての作業になります。作業に入る前に必ず安全を確保した上で作業を行ってください。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。

⚠注意

実施

- <u>この商品の取り付けは必ず、オートバイ店もしくは認証整備工場へ依頼してください。</u>
- 取り付け後約 100ｋｍ 走行しましたら各部を点検してください。その後は約 500ｋｍ毎に必ず点検を行い、各部に異常がないか確認してください。
- 取り付け後、走行フィーリングが変わっていますので必ず感覚を確認してください。この作業を怠ると重大な事故につながります。
- 取り付けは確実に行ってください。また、走行中にネジ部等が緩まないよう、トルクレンチを使って所定トルクで確実に締め付けてください。

禁止

- この商品は加熱しないでください。ヘタリや破損の原因となります。
- この商品へ切断等の加工は一切行わないでください。ヘタリや破損の原因となります。又、フロントフォークのストローク不足によって操安性が低下し重大な事故へつながります。
- この商品は、純正スプリングと比較し、１Gの荷重での沈み込みが大きいため、フロントが下がる仕様（約 25mm程度）となります。
- この商品は、記載されている適合車種以外の車両には使用しないでください。
- 作業中、車体が倒れないよう十分注意し、作業を行なってください。

その他

- 商品の不良について商品については保証できますが、商品以外の費用（取り付け工賃や塗装費等）の保証は一切できませんのでご了承ください。
- この商品の単独装着の場合は、サイドスタンドの交換は必要ありません。
- 他社製品との組み合わせは不明です。
- この商品は、予告無しに価格や仕様の変更をする場合があります。予めご了承ください。
- この商品は純正フロントフォークスプリング対比で、バネレートがダウンしますので、乗り心地がソフトになります。

本商品の特徴

- 乗り心地も考慮してローダウンしたい方や、足付き性を向上させたい方にオススメ。
  純正対比約 25mm ダウンのフロントローダウンスタイルにカスタマイズ可能。
- 実走テストを繰り返し、硬すぎない最適バネレートに設定しました。
- リアのダウン量が 25～45mm前後のローダウンサスやローダウンブラケットとの同時装着がお奨めです。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ	数量
①	フォークスプリング	左右共通 約 285mm	2

セッティング

フォークオイル粘度	オイル量（片側）	オイルレベル
MOTOREX　FOLK　OIL　＃10	143ｃｃ	82mm

取付方法

●この商品の取り付けは必ず、オートバイ店もしくは認証整備工場へ依頼してください。

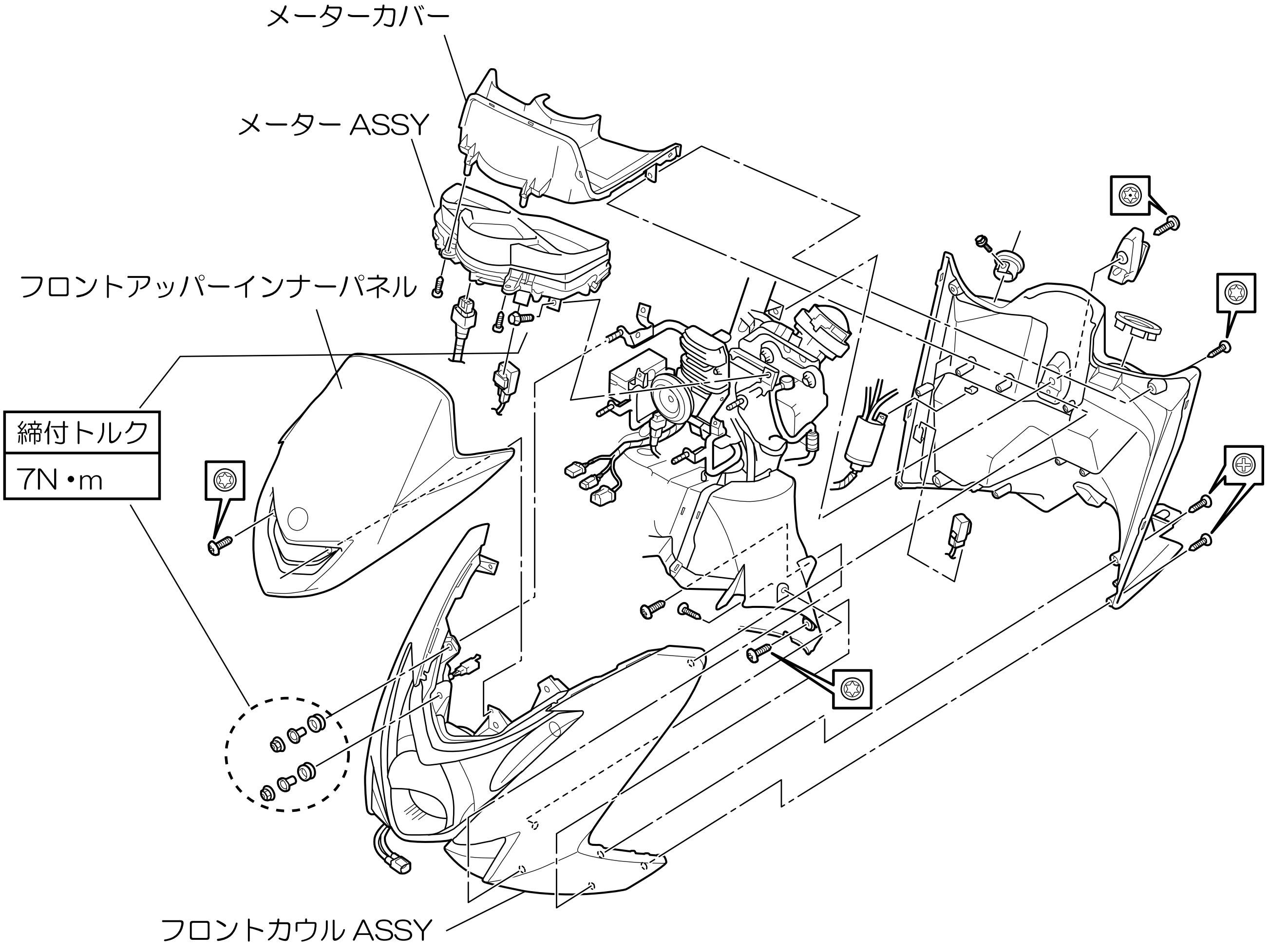
●この作業手順は弊社にて検討した方法となっており、取り付けに際しては必ずサービスマニュアルを参考にしてください。

●予め、車体を平坦な場所でセンタースタンドを使って停車し、ボトムカウリング下方前側にジャッキ等を使いフロントホイールを浮かせた状態にして作業に臨んでください。

1. スクリュー（2 本）を外し、フロンントアッパーインナーパネルを取り外します。スクリューはいじり止めトルクス形状となっています。
2. フロントカウル ASSY を固定しているスクリュー（12 本）とナット（4 個）を取り外します。
3. フロントカウル内のヘッドライトカプラー、フロントウインカーカプラー、マーカーライトカプラーを外し、フロントカウル ASSY を取り外します。

⚠注意 **※ツメを折らないように十分に注意して取り外してください。**

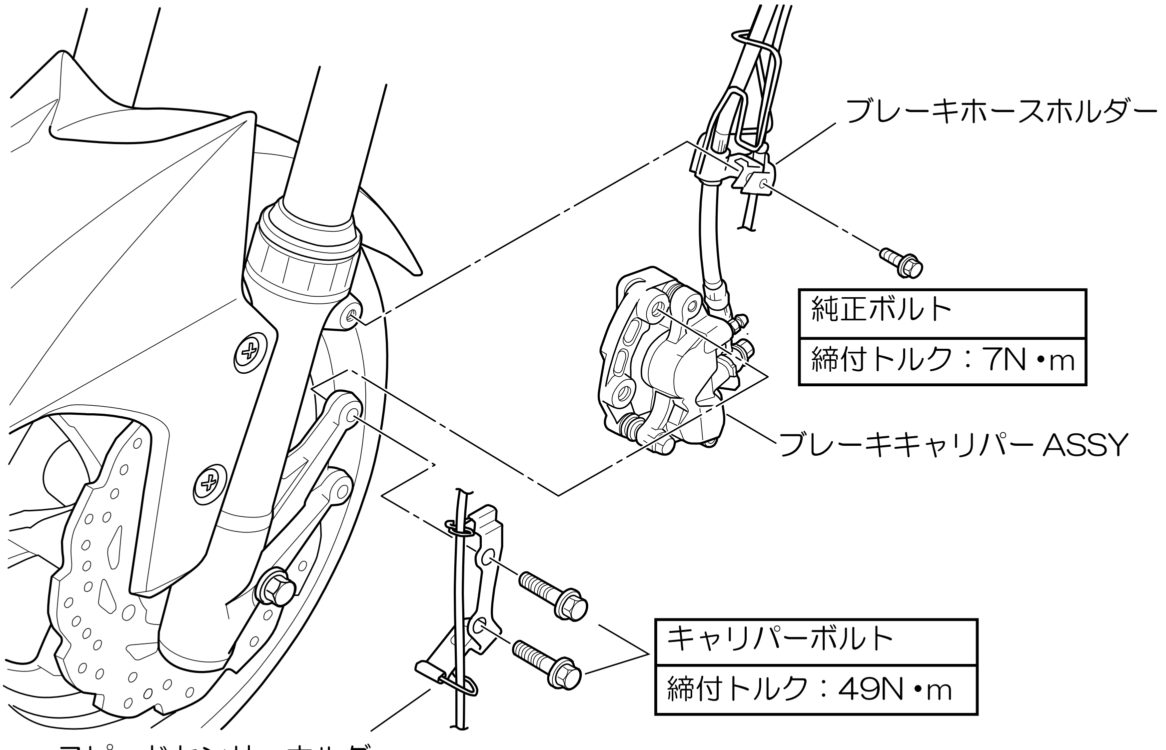
4. メーターASSY のカプラーを取り外してください。
5. スクリュー（2 本）を外し、メーターカバーを取り外します。
6. ボルト（2 本）を外し、メーターASSY を取り外してください。



7. 純正ボルト（1 本）を外しフロントのブレーキホースホルダーをフリーの状態にします。

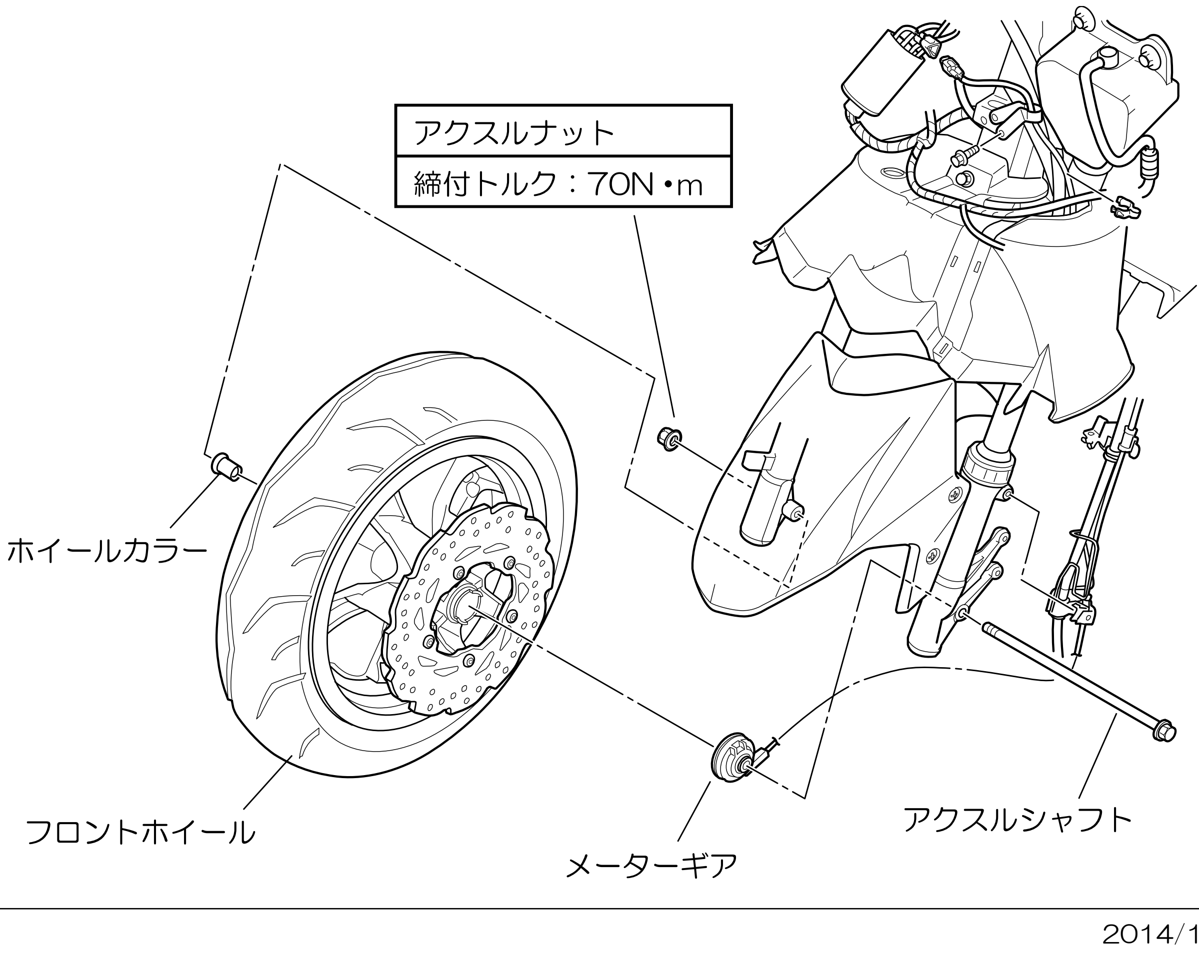
8. 左側フロントフォークのキャリパーを固定しているキャリパーボルト（2 本）を外し、スピードセンサーホルダーとブレーキキャリパーASSY をフリーな状態にします。

⚠注意 ※キャリパーは周辺部品とぶつからないようにご注意ください。

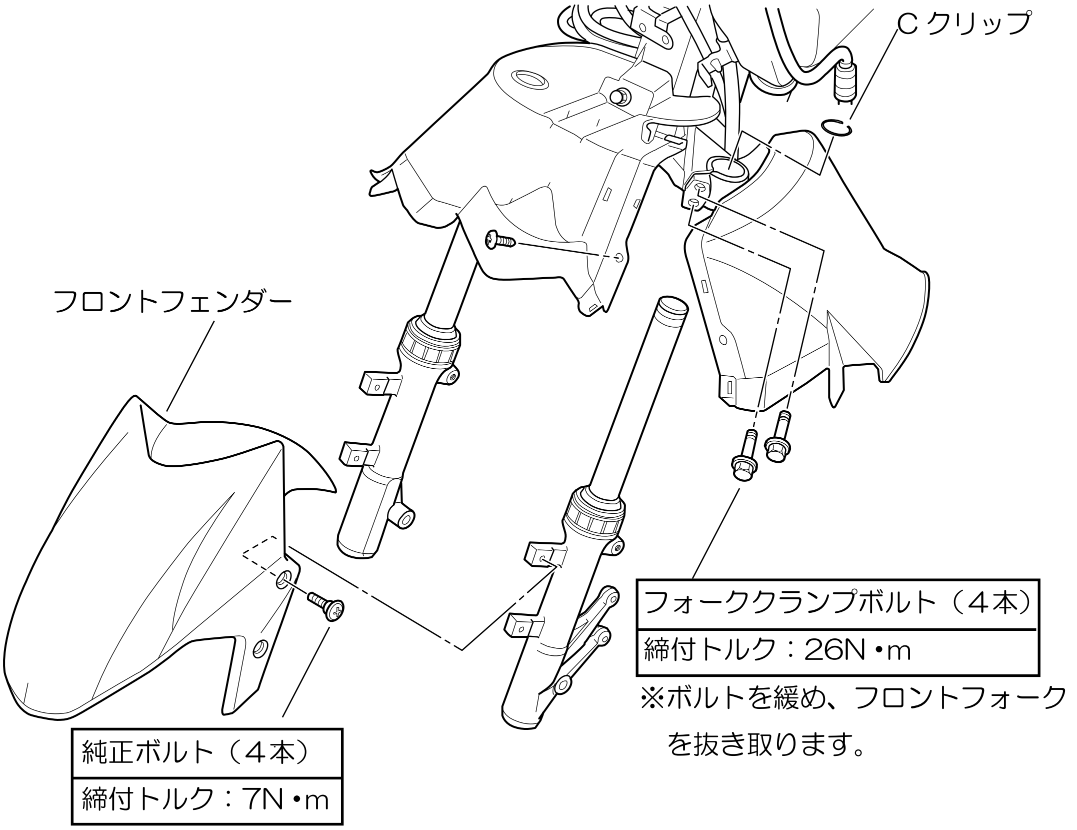


9. アクスルナット（1 個）を外し、アクスルシャフトを抜き取ります。

10. フロントホイール、メーターギア、ホイールカラーを取り外してください。



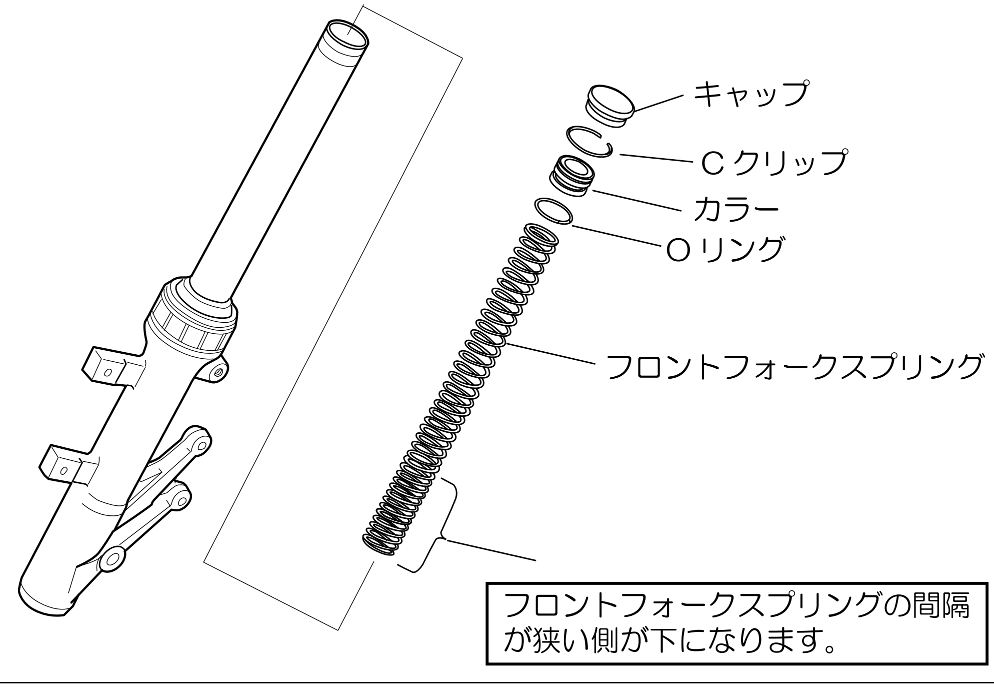
11. フロントフェンダーを固定しているボルト（4 本）を外し、フロントフェンダーを取り外します。
12. フロントフォーク上端のCクリップをマイナスドライバー等で外し、フォーククランプボルト（4 本）を緩め、フロントフォークを抜き取ります。



13. フロントフォークの分解を行います。
14. キャップ（各 1 個）をマイナスドライバー等で取り外します。
15. カラー（各 1 個）をドライバー等で上から押して 4mm程度、押し下げます。この状態のまま、O リングピッグ等を使用してクリップ（各 1 個）を抜き取ります。

⚠注意 ※カラーがスプリングの力で飛び出すので上からカラーを押さえながら、注意して取り外してください。

16. フロントフォークを平坦な場所で垂直に立て、フロントフォークスプリング左右を抜き取ります。



17. トレイ等にフロントフォーク内のオイルを排出してください。フロントフォークを収縮させ、しっかりとオイルを排出させてください。

⚠注意

※フォークオイルを交換しない場合は、フォークオイルを必ず補充し、油面調整を行ってください。

※オイル粘度は仕様によって変更してください。

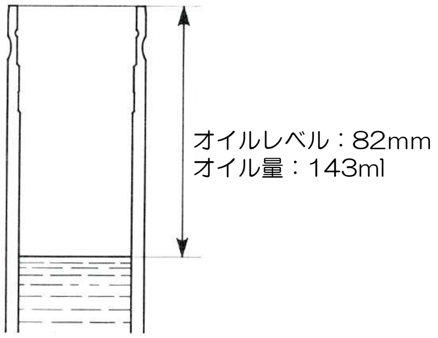
18. フォークオイルを規定量入れて、オイルレベルを調整します。詳細は**◆オイルレベル調整方法◆**を御覧ください。（このスプリングは、オイルレベルをＳＴＤ基準で設計しています。）
19. 付属の①フロントフォークスプリングと交換します。①フォークスプリングは上下方向に注意してください。**（スプリングのピッチが狭いほうが下側です。）**
20. 取外しの逆の手順でもとに戻し作業は完了です。ボルト／ナット類の締付トルクは分解図の記載を参照してください。

◆オイルレベル調整方法◆

① 規定量を目安にフォークオイルを注入します。

② フォークチューブを数回伸縮させ、混入しているエアを抜きます。

③ フォークチューブをいっぱいに沈めた状態（最屈時）でオイルレベルを調整します。



◎　このスプリングは、オイルレベル調整をＳＴＤ基準で設計しています。但し、お好みにより、オイルレベルの調整をしていただいても構いません。

オイル量（片側）	オイルレベル（インナーチューブ上端から）	番手
143ml	82mm（スプリング無し最屈時の実測）	#10

◎　オイルレベルとオイルの番数を上げると、簡単にどうなるかといえば．．．

	固い	**柔らかい**
オイル粘度	減衰力が効いて､フロントフォークのストロークスピードが遅くなり､全体に固い印象になる。	減衰力が減り、フロントフォークのストロークスピードが速くなり、全体に柔らかい印象になる。

	高い	**低い**
オイルレベル	フロントフォークのストローク範囲の初期から中間は変化しないが、後半の沈み込みの奥で固くなる。	フロントフォークのストローク範囲の初期から中間は変化しないが、後半の沈み込みの奥で柔らかくなる。

東証JASDAQ上場 株式会社デイトナ　〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで